

FICoN第2回ウェブ検討会 (R3.11.8)

○「ウッド・ショックに打ち克つ川中のシステム・イノベーションへの期待」

<講演>

「木材需給の変動への対応について」 林野庁 齋藤 健一氏

「ウッド・ショックに打ち克つために」 中国木材(株)松岡 秀尚氏

「ウッド・ショック以後の国産材業界の成長戦略」 協和木材(株) 佐川 広興氏

「ウッド・ショックの要因と今後の木材流通」 物林(株) 淡中 克己氏

「枠組壁工法構造用製材の最新動向」 (一社)日本ツーバイフォー建築協会 清野 明氏

<総合討論> (司会)筑波大学 立花 敏 氏、(パネリスト)上記講師の皆様

【ポイント】

- ・川上では立木在庫を持っておらず、丸太での長期在庫も難しい等の理由があり、価格が上がっても直ちに供給量を増やせない状況。
- ・流通では国産材への問い合わせが増加。単なる輸入材への競合ではなく、国産材を使用するステータスが上がったと思われる。
- ・製材サイドでは国産材の利用を増やすためハウスメーカーや2X4メーカーと話し合い、縦つぎや樹種のセットなども適用して対応していきたい。スギ材は弱いと言われるが、たわみと強度を区別して考えるべき。
- ・2X4サイドは外材を用いてきたため、森林所有者や製材業との関係性が薄い。信頼関係を築いていく必要がある。